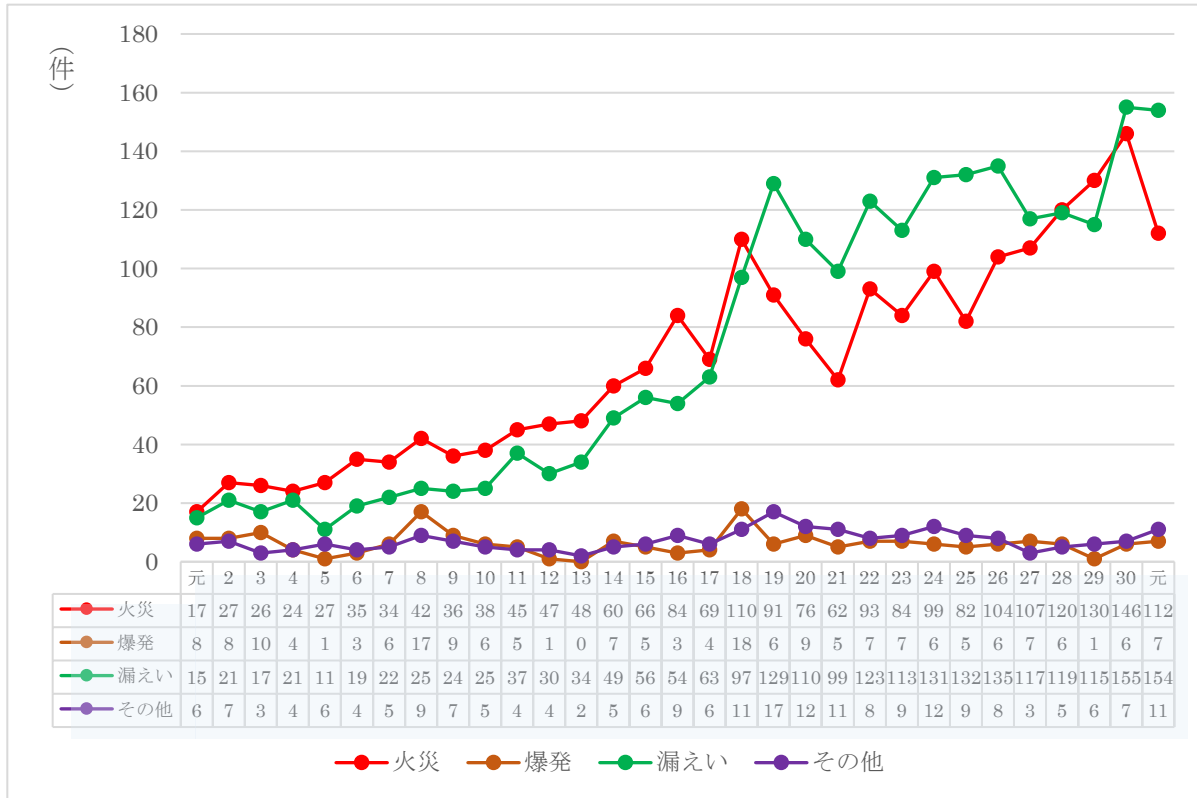


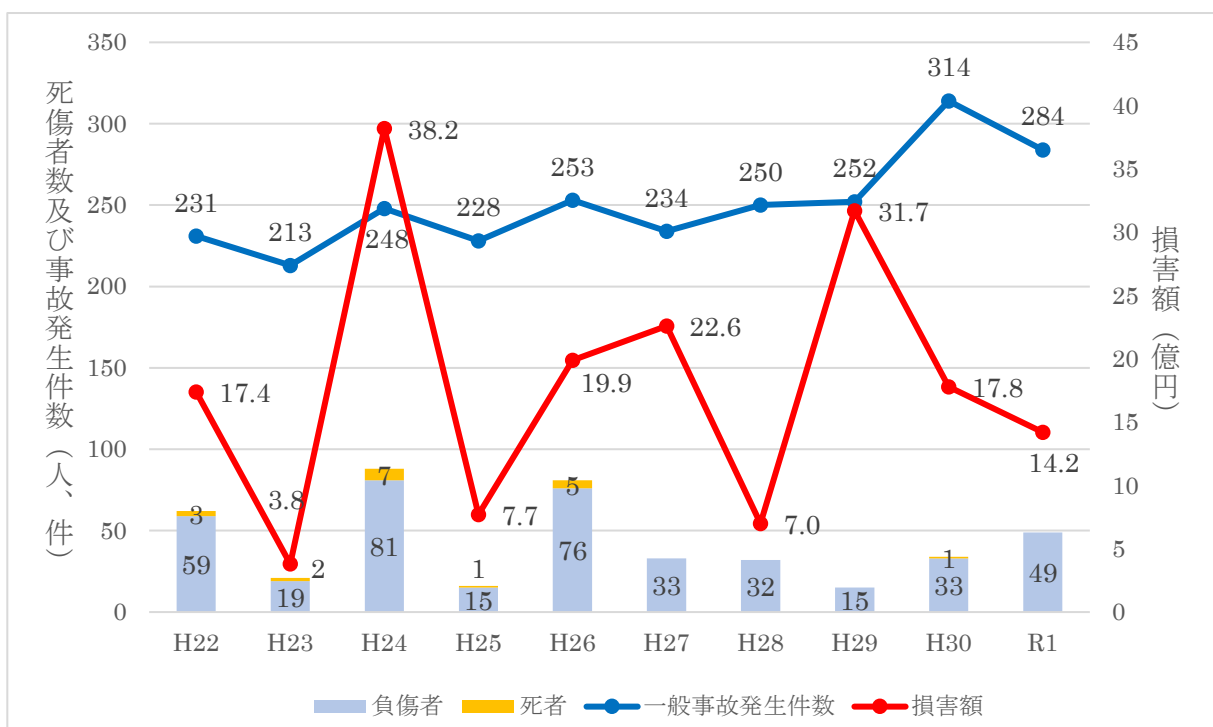
一般事故では、火災件数が減少したものの、漏えい事故は、依然多く発生しており、事故種別の中でも最多となっている。

一方で、事故発生件数は増加したものの、死傷者数及び損害額は、例年と比較して高い水準にはありません。

【平成元年以降の一般事故発生件数（事故種別ごとの推移）】



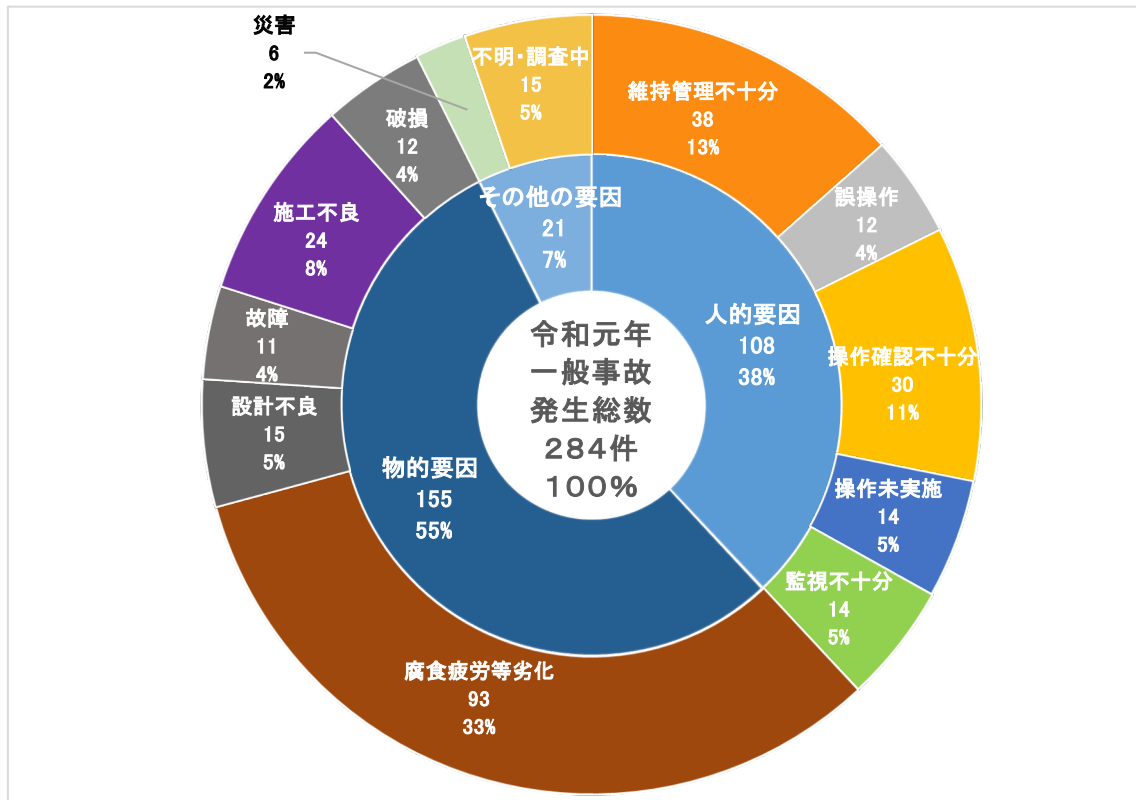
【過去10年の一般事故発生件数と一般事故被害状況】



一般事故の発生要因としては、人的要因と物的要因で主な事故要因が「腐食疲労等劣化」、「維持管理不十分」、「操作確認不十分」となっています。

また、過去 10 年の推移は、人的要因では、平成元年以降最多一般事故件数となった昨年と比較すると 25 件減少したものの、他の年と比較すると多少の増加となり、物的要因による事故の発生についても増加傾向にあります。

【令和元年中における一般事故の発生要因】



【過去 10 年の一般事故における要因別発生件数の推移】

